

有毒植物による食中毒に要注意!

雪が融け、新緑が芽生えるこの時期、連休などを利用して山菜採りに出かける方も多いのではないのでしょうか。今回は、有毒植物による食中毒の注意点についてお知らせします。

春のレジャーに潜む危険

近年のアウトドアブームなどにより、外に出て自然を楽しむ人が多くなってきています。春になると山菜採りに出かける人が増え、有毒植物を食べたことによる食中毒が多発します。野草の中には食中毒の原因となる有毒植物があるため、注意が必要です。食用と確実に判断できない植物を食べるのはやめましょう。

食べられるか判断のつかない植物は…

絶対に

採らない

売らない

食べない

人にあげない

もし食べて異常を感じたら、すぐに医療機関を受診してください。

庭に生えた植物の誤食による食中毒も発生しています。食用の植物だと思っても、植えた覚えのない植物を食べるのはやめましょう。

他人事ではありません

道内でも過去5年間で有毒植物による食中毒患者が17人発生しており、そのうち6人が食中毒により命を落としています。食中毒は他人事ではありません。平成31年4月には本市でも山菜の「ジャク」に有毒植物である「トリカブト」が混じっていたことにより、食中毒を起こした事例が発生しました。

山菜と有毒植物が混生することもあるため、採るときは一本一本よく確認して採るようにし、調理前にも再度確認してください。

◆お問い合わせは、保健所生活衛生課 ☎ 3 1 1 8、FAX ② 1 4 6 9 へどうぞ。

毒草ハンドブックを配布しています

保健所では、山菜と間違えやすい有毒植物をまとめた「毒草ハンドブック」を配布しています。毒草ハンドブックは北海道が作成したもので、食べられる山菜と食べられない有毒植物の見分け方などが記載されています。

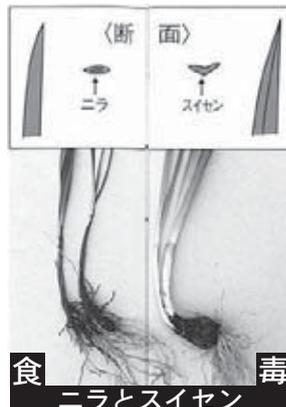
山菜採りの際はぜひご活用ください。



ヨモギ



フクジュソウ



ニラとスイセン

出典:北海道「毒草ハンドブック」

代表的な山菜と有毒植物(死亡例のあるもの)

山菜	似ている有毒植物
ニラ	スイセン
ニンソウ	トリカブト
ヨモギ	フクジュソウ、トリカブト
ジャク	ドクニンジン、トリカブト
ギボウシ	バイケイソウ、イヌサフラン
セリ	ドクゼリ
ギョウジャニンニク	イヌサフラン